

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi

ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

高まるインフレ懸念と地政学リスク

ーリスク配分を抑えたアロケーションへの見直しをー



インフレ圧力と相まってロシア・ウクライナにおける紛争激化という地政学的な要因もあり、市場の不確実性は高まっています。一方、中央銀行は持続的な物価上昇への対応を見極めようとしています。このような環境下では、特にクレジット（信用）面に留意しながらリスクの低減を図る、守りのポートフォリオが重要と考えます。

投資の着目点



中央銀行の動向に注目

不確実性の長期化は、市場にさらなる価格調整（リプライシング）が起こる可能性があります。これは強力なインフレへの対応と経済成長を下支えする政策との間でバランスを取ろうとする米国連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）にとって難局となる可能性があります。



国債には機敏な対応を

長期的な金利の方向性は上向きとみられるため、国債には慎重な姿勢で臨むべきであるものの、最近の地政学的リスクを考慮すると、目先は投資家によるリスク回避の動きから恩恵を受ける可能性があります。このように、短期的な市場の変動から利益を得るためには、柔軟性が重要です。



債券市場の流動性リスクに注視

最近の債券市場のボラティリティは、企業のファンダメンタルズへの懸念というより、流動性によるものとみられます。金利上昇やインフレの影響を受ける可能性のある分野には、より慎重であるべきと考えます。



インフレのフィルター越しに市場を見る

バリュー株への資金循環が一服しているとはいえ、この動きは中期的なトレンドであると考えます。市場環境の変化を踏まえ、価格決定力を有するクオリティ株、バリュー株、配当が期待される銘柄を探索すべきとみています。

慎重に適切なバランスで危機を乗り切る



足元の市場環境においては、リスク資産に対し短期的な警戒が必要です。投資家は十分な分散投資のスタンスを維持し、さらなる市場の混乱に備え、下振れリスクの抑制を重視したアプローチを取るべきであると考えます。株式については、バリュー株とクオリティ株、また新興国株式に長期的な投資機会が期待されるため、高い選択眼を維持し利益成長を見極めることが必要でしょう。一方、国債については、積極的かつ柔軟に対応することが重要とみています。欧州周辺国※や中国等の新興国債券からはインカム獲得の機会があるとみており、中国と米国の経済サイクルがデカップリングする場合には、中国資産がグローバルな分散投資をサポートする役割を果たすと考えます。

※ イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ

当資料のご利用に当たっての注意事項等

- ・ 当資料は、情報提供を目的としてアムンディ・アセットマネジメントの作成した資料をもとに、アムンディ・ジャパン株式会社が翻訳した資料であり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ・ 当資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

アムンディ・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会